

日蓮大聖人

第七三二遠忌

御報恩お会式



清澄

平成25年11・12月
合併号

発行所

〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1

◎ 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所

天津 (南) プラザー印刷
送料共1部 100円

お知らせ

12月

27日 18:30 信行会(唱題行)
31日 16:00 報恩経
23:35 水行式
23:55 除夜の鐘

1月

1日 0:20 一番祈禱
7:30 元旦祝禱会
27日 18:30 信行会(唱題行)

お会式

第七三二遠忌御報恩お会式が例年同様十月二十七日に開催され、早朝から賑わいを見せました。

ご来賓の地元大本山誕生寺様・本山鏡忍寺様・千葉県南部宗会議員様・日澄寺様のご参列を頂き、大導師には二宮別當、副導師には上村貞雄千葉南部宗務所長・宮崎雅宣執事長、式衆に修法師会の御法助を頂き、莊嚴に飾り付けをされた祖師堂で午後二時、開式を致しました。

法要の中盤には、千葉県和讃連絡会・三一名の和讃の奉詠があり、又、最後には本願人推挙の授与式が執り行われました。

平成25年12月15日(隔月1回15日発行)

大本願人 系久和子様
伊藤 郁様
大本願人 萩原市様
本願人 八代憲雄様

本願人とは、永年にわた
り当山の護持彰に御尽力
いただきました方々に、本
願人規定に則り推挙され
るのです。



法要終了後、千葉本祐（修法師会副会長）修法導師により修法師の法楽加持が行われました。

の十五名でした。

玲子様
カヨ子様
治様
宏知様
榮治様
和子様
保子様
伊佐子様
上口吉中田木山本

本願人 岸窪中川佐田百々
野田島上木中瀬
絹久 恵京京勝
代夫厚子子子子子
様様様様様様

尚、当日来山する事の出来なかつた方々は、御本尊を御宝前に奉安し、お祖師様に御報告申し上げ、後日授与させて頂きました。

本願人
吉田幸司様



お会式に華を添えて下さいました。
檀信徒・千葉県和讃連絡会・延寿寺の皆さん、遠路の所お会式にご参列をいただき、まことにありがとうございました。
本紙面を以て御礼申し上げます。

夜明け前、檀信徒と共に唱題行進にて旭が森に向かいました。



午後七時からは信育道場にて、檀信徒と参籠者が満場に集い、松本主事導師のもと、唱題行が行われました。

唱題行

本院改修状況

本年三・四月号より、本院の状況をお知らせさせて頂き、勧募ご協力のお願いにあたりましては、各方面から尊い浄財を随時お送り頂き、謹んで御礼申し上げます。



今後、建設委員会の皆様のお力をいただき協議をすすめまいりたいと存じます。引き続きお心ある皆様のご支援を衷心よりお願ひ申上げます。

特に被害が大きかったのは、旭が森境内参道の崖の崩落とそれに伴う倒木で、その下にある練行堂の水屋が倒れ、大変危険な状況となり、二次的被害の恐れもあつた為、十一月末日まで通行を禁止しております。

また、妙見菩薩をお祀りする妙見山もこの台風による影響で木々が何本も倒れました。

旭が森の崖崩落

妙見山大杉倒木



台風による崩落の影響により大きな木が倒れましたので通行を止めています

全国を襲った大型の台風二十六号は太平洋沿岸を北東に進み各地で洪水や土砂崩れが起き、交通機関にも大きな影響を及ぼしました。

清澄寺も例外でなく、境内各所に被害を受けました。

特に被害が大きかったのは、旭が森境内参道の崖の崩落とそれに伴う倒木で、その下にある練行堂の水屋が倒れ、大変危険な状況となり、二次的被害の恐れもありました。特にお堂に登る手前での参道の直径一メートルにも達する大杉が根本から道を塞ぐように倒れ、参拝もできない状態となつておりましたが、それぞれ応急処置を済ませ撤去され、現在は通れるようになつております。ご参拝の皆様



には注意してお通り下さい。ますようお願い申し上げます。

今回の台風被害を真摯に受け止め、山務員一同護山意識のもと、参拝者の皆様には安全に気持ちよくお参り頂けるよう対応していく



檀信徒研修道場開催

十月二十四日(土)二十五日(日)千葉教区の檀信徒研修道場が開催されました。千葉県東西南北の四管区より、教師二十四名、檀信徒四十名の参加でした。



今回は檀信徒の進行推進者を養成する事を目的とされ二日間で計十時間にも及ぶ研修・講義を受け参加者は充実した二日間を過ごされました。

参加者は当山の朝勤にもついてのご法話も聴聞されました。

報恩会 来山



十月二十六日、公益財団法人報恩会（本部・静岡県沼津市）の行二十八名が来山し参籠されました。報恩感謝の念を養い、峻厳な自己反省により家庭生活の改善を手始めに人間関係を清掃奉仕を定期的に協力いたしております。

当日は台風二十七号が接近しており、無事到着できるか心配しておりました。翌日は旭が森の参拝、摩尼殿及び祖師堂での朝勤に参列されました。法音寺（名古屋市 鈴木正修住職）の東京支院（猪原善昭上人ご引率）一行二十八名も参列され、二宮別當よりご挨拶の後、報恩会の皆さんは練行堂に移動。

全員でお堂の清掃をし、それぞれお線香を供え合掌し、日蓮大聖人、小林法運氏のご遺徳を感じつつ、心一つとなつて声高らかにお題目を唱えておりました。



夏の暑さも和らいだ十月中旬、本年も女性教師を目指す総勢二十七名の度牒生に宗務総長より度牒の交付が行われました。

それぞれの思いを抱え、全国より当山に来山した度牒生は、衣に着替えた後、法式練習や読経試験を行いました。

その後、明朝の度牒交付事到着されました。

翌日は旭が森の参拝、摩尼殿及び祖師堂での朝勤に参列されました。法音寺（名古屋市 鈴木正修住職）の東京支院（猪原善昭上人ご引率）一行二十八名も参列され、二宮別當よりご挨拶の後、報恩会の皆さんは練行堂に移動。

度牒の交付を受け、僧侶としての第一歩を歩み始めました。度牒生の顔色は、喜びに満ちた方もありましたが、慣れない一泊二日の仏道修業に疲れ果てている方もいらっしゃいました。

前号で、台風十八号による関西地方の被害にふれましたが、その後の二十六号では清澄も大きな被害に遭いました。

その状況は三ページに掲載させて頂きましたが、本院の改修で皆様方に淨財を頂いております昨今、今回の台風被害で早急の対応処置が必要となつております。

是非とも、皆様方のお力添えご協力を賜りたく存じます。

清澄寺では皆様の平穏安泰を、日々ご祈念致しております。

第三回度牒交付式

二月三日節分会の
歌謡ショーの
II速報

沢田知可子さん
来山

